

5. Ayuu Alali村の打ち抜き井戸補修(ウガンダ)

- 実施団体: Feed A Life Rural Initiative (FALRI) (#94)
- 実施地: ウガンダ ラムウォ県 パラベクカル難民キャンプ アユアラリ行政教区 アユアラリ村
- プロジェクト費用: 2,045ドル (JWFファンド1,500ドル、他支援100ドル、団体300ドル、受益者145ドル、費用/予算 69.3%)
 予算: 2,950ドル (JWFファンド1,500ドル、他支援750ドル、団体500ドル、受益者200ドル)
- 受益者数: 900人 (男性200人、女性500人、子ども200人)
- 実施地の水問題:

アユ・アラリ村では既設打ち抜き井戸が何カ月も使用不可となったため、住民は汚染の可能性の高い小川等の水源に頼っていた。確実な煮沸消毒が必要だったので、森林伐採、一酸化炭素排出が増した。薪や水集めは女性や子どもたちの大きな負担となった。深刻な水不足によって、動物と水場を共有せざるを得ず、病気の発生による死亡率の上昇を招いていた。申請書には住民97名の署名が添付されていた。

【実施前】



清浄といえない水源で水を汲む



雨季の沼で動物と水を分かち合う



補修対象の、破損打ち抜き井戸

- 主な活動内容: 破損打ち抜き井戸2カ所の調査と補修、手押しポンプ設置、水源水利用者委員会の結成。
- 特長(持続性): 水源委員会による維持管理と監督の実施、地元共同体メンバーへの水資源管理者の育成等。
- 実施団体: 2020年に、紛争の影響下にあったウガンダ北部の女性や女兒の生活向上のために設立。女兒教育、環境の持続可能性、清潔な水の供給、女性の地位向上を掲げた活動により、社会の平等やエンパワーメントを推進する原動力となっている。

5. Ayuu Alali村の打ち抜き井戸補修(ウガンダ)

【実施中】



現場説明会



破損状況調査



衛生習慣研修
手洗い実演



水受け補修と手押しポンプ設置



水源水利用者委員会研修

【実施後】



打ち抜き井戸補修完了



安全の為に、囲われた井戸



Ms. Anyango Nighty
(40歳)

以前は汚染された水のため毎週下痢や腹痛に悩まされていました。井戸修理後は清浄な水利用が可能となり、私自身も子どもたちの健康も大きく改善され、頻繁に病気にかからなくなりました。



Ms. Abalo Grace
(55歳)

井戸修理前は、特に乾季に川が干上がると水探しに非常に苦労しました。遠くの井戸まで水汲みに一日中費やしたことも。今では、村内で清浄な水を簡単に利用できるようになりました。おかげで、小さな庭を作って野菜を市場で売り、家族の収入や食料を増やすこともできるようになりました。



Mr. Ojera Alex
(37歳)

この井戸は私や村の仲間に大きな力となりました。子供たちは水汲みに何時間も歩かなくなり、私たちは家族や生計に多くの時間を持てるようになりました。衛生習慣研修のおかげで、家族の健康も保てます。